

上越教育事務所生徒指導だより

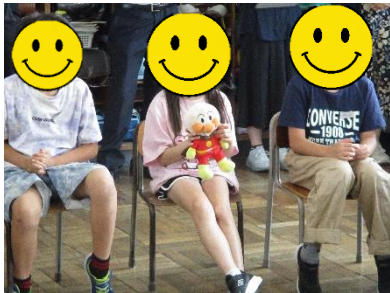


心理的安全性を高める指導の工夫を

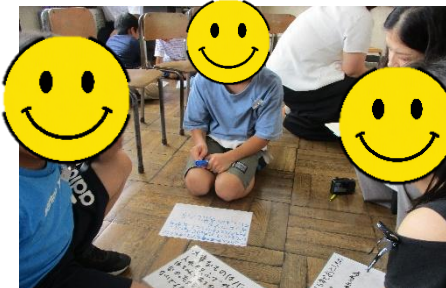
県教育委員会では、いじめや不登校の未然防止のため、「発達支持的生徒指導」に着目した指導資料を作成し、令和9年度に県内すべての学校へ配布する予定です。指導資料の一つに、上越教育大学の赤坂真二教授の指導のもと作成した「クラス会議」があります。「クラス会議」は、児童生徒の主体性、協働性、課題解決能力等を育み、心理的安全性の高い学級づくりを推進するために有効な取組です。

本号では、令和7年度実践協力校、上越市立高志小学校の「クラス会議」の授業実践を紹介します。

導入のポイント：温かな雰囲気づくり

活動の流れ	○児童の姿 ☆指導のポイント
・話合いのルール確認  ①たくさん「いいね」を見つけよう ②顔を見て聴こう ③質問や確認は最後まで話を聴いてから行おう ・ハッピー探し ・前回のクラス会議における解決策の振り返り	  ○写真のように、児童は輪になって、「いい気分になったこと」「誰かに感謝したいこと」「誰かをほめたいこと」について話しました。発表を聴いている児童は、全員が発表者の発言を真剣に聴き、学級全体が温かい雰囲気に包まれました。 ☆互いの考えや思い、気持ちを聴き合う場 ハッピー探しは、出来事だけでなく、その出来事を通じて自分がどう考えたり思ったりしたのか「気持ち」を発表することで、聴き手も嬉しい気持ちになります。 導入では、学級全体で発表者の話を最後まで聞くこと、肯定的に聞くこと、話を聞いていることを頷くなどして態度で示すこと等を学級全体で確認することが大切です。一人一人の発言や気持ちが尊重されるという安心感が、温かな学級の雰囲気や児童生徒の主体的な発言を生み出します。また、活動を通じて、児童は自分や仲間のよいところに注目し、自他を尊重する態度が育まれます。

展開のポイント：問題解決に向けた協働的な話し合い

活動の流れ	○児童の姿 ☆指導のポイント
・議題の提案 ・問題解決の話し合い活動 ↓ ①ホワイトボードに自分の考えを書く ②グループで話し合う ③全体で話し合う	【議題】物をなくしてしまうことが多くて困っているAさん。Aさんが物をなくさないようにするためには、どうしたらよいか。   ○各自の考えを持ち寄り、グループで解決策を話し合う姿 ○各グループの解決策を持ち寄り、全体で解決策をしぼる姿 ☆一人ひとりの発言や意見を認め合い、折り合いを付ける場 まずは、たくさんの意見が出ることを肯定するとともに、相手の意見を受け止めるよう指導することが大切です。反対意見を出す際には相手の意見を頭ごなしに否定するのではなく、いったん受け止めてから自分の意見を発言する態度が身に付いてくると、相手の意見を尊重しつつ、折り合いを付けた話し合い活動ができるようになっていきます。

終末のポイント：自己肯定感、自己有用感を育む振り返り

活動の流れ	○児童の姿 ☆指導のポイント
・解決策の決定 ・振り返り	 ○写真は、議題提案者のAさんが学級全体の解決策を見て、自身を取り入れたい解決策を考えている様子です。この後、無事に解決策が決定しました。 振り返りの場では、司会者や書記の児童などから、活発に意見交換をする仲間のよかったところや嬉しかったことが発表され、学級が笑顔であふれました。 ☆感想や感謝の気持ちを伝え、頑張りを認める場 振り返りの場を生かし、児童から児童、教師から児童へ「クラス会議に参加してよかった」と思えるような称賛の言葉掛けを行うことが大切です。望ましい姿が学級全体で共有されることで、児童生徒はありのままの自分が認められた、他者のために役立ったという思いを抱き、児童生徒一人一人が集団の中で個性を発揮していくようになります。

本号で紹介した心理的安全性を高める「クラス会議」のポイントはほんの一部であり、指導資料の中では、より多くの指導のポイントを掲載する予定です。各学校におかれましては、児童生徒が安全・安心に過ごせる学級、学校づくりの取組をお願いいたします。